

子宮内膜搔爬術（当日処置）

を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 @{Patient.Name} 様

主治医  
受持ち看護師

日付	検査当日（検査前）	検査当日（検査後）	
目標・退院基準	性器出血がない 痛みがあるときの対処ができる	日常生活の注意点について必要性が理解できる 性器出血がない 痛みがあるときの対処ができる	
検査	処置前に検温を行います。 処置中も適宜検温を行います。	処置後は1時間目、2時間目で検温を行います。	
処置	下着をはずしてください。 排尿を済ませ、脱いだ下着にあらかじめ夜用のナプキンをつけてください。 酸素マスクを装着します。心電図モニターを装着します。	麻酔が覚め、呼吸困難感など症状がなければ酸素マスクを外します。 処置後は看護師が出血や麻酔覚醒の状況を確認します。	
注射	処置前に点滴が開始となります。	点滴が終了、麻酔覚醒が良好になれば抜針します。	
内服薬	常用薬で内服の指示がある薬は6時に少量の水で内服してください。	飲水が再開されたら内服も可能となります。	
食事	6時から絶飲食です。	処置後2時間経過し、吐き気などの症状がなければ食事摂取可能です。	
飲水制限	6時から絶飲食です。	麻酔から覚めていれば飲水が可能です。ムセ込みがないか確認します。	
活動	安静度	病室内で待機してください。	処置後2時間まではベッド上で過ごします。
	排泄	処置前には排尿を済ませておいてください。	トイレは看護師付き添いで歩行をします。ナースコールで教えてください。 ベッド上安静中に尿意がある場合は看護師にお伝えください。
	清潔	処置前に洗面や歯磨きを行ってください。	処置当日はシャワー浴は控えてください。翌日よりシャワー浴は可能です。 入浴は出血が持続している場合は控えてください。概ね1週間後より可能となります。
教育 説明 その他	貴重品は家族に預けてください。 処置室へ行く前にコンタクトレンズ・補聴器・義歯・時計・アクセサリ等は外してください。	翌日から通常通りの生活を送ってよいですが、旅行や激しい運動などは控えてください。 以下の症状があった時には病院へ連絡をしてください。 ①出血量が退院時より増えたり、血液の塊が出る （出血は個人差がありますが、1週間程度続く場合があります） ②尿の出が悪く、排尿時に痛みがある場合。 ③下腹部がひどく痛む場合。 ④風邪症状なく、37.5度以上の発熱が2日以上続く場合。  性交渉は次回外来で診察で許可が出るまで控えてください。	
備考			

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。

ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。